

高校では、二〇〇三年に校舎を新築し運動場の整備を行った。キャンパスを全面移転しました。これは、厳しい少子化時代に備えるためです。二〇〇五年度から菰田先生を校長に任命し、鈴木副校長を迎えて新体制が整いました。そして校長を中心になって高校をあげて「聖隸クリストファー高等学校二十世紀躍進プラン」を練り上げました。今、私たちは厳しい環境に積極的に対応することを考え、果敢に実行を始めました。

さて、中学の卒業者数が激減しています。平成元年(一九八九年)には六一五〇六人いた静岡県の中学校卒業者が平成十三年(二〇〇一年)には四三八二三人(マイナス一八六八三人)になりました。平成十八年(二〇〇六年)には三六八〇五人(マイナス二五七〇一人)と予想されています。平成元年時の六十%にまで急減します。

静岡県には公私(立)協議会があつて私立高校と公立高校の募集定員を調整しています。従来は私学一对公立二の割合でそれぞれの募集定員を決めてきましたが、平成十五年度(二〇〇三年)以降、私学の募集定員は現状維持としています。その理由として県内には四十三の私立高校があり、その人件費、教育経費などと学納金から計算しますと損益分岐点はおよそ一学年三百人の生徒数になります。これより小規模になれば経営が大変厳しくなることを意味します。一学年三百人以下の私学は既に二十四校になつております。生徒数の減少に合わせて募集定員を



実力が問われる時代に向かつて

静岡県の私学の現状から

理事長 長谷川 了

減らしていくと、小規模校は経営が成り立たなくなるからです。この処置は小規模校も努力によつて生き残る道

が保障されること、ある程度競争原理が働き、ある程度秩序が維持されることの両立を図るためにあります。

平成十八年度の全日制高校への進学者予想は三四三六九人で公立の募集定員は二三三六九人の予定になり、残りの生徒数は一一四三一人となります。が、私学の募集定員は一二七三六人です。公立高校の必要経費のおよそ八十八%は税金でまかなわれていますので公立の保護者負担である学納金は私学の四分の一から五分の一です。このことから静岡県では公立志向が強いのです。したがつて一三〇五人(一二七三六人ー一一四三一人)は私学の中で定員割れが予想されます。私学間の厳しい生き残りをかけた激しい競争の時代に既に突入しているのです。公立病院でも民間病院でも患者の負担がまったく同じであることを考えれば教育機関の官民格差は大変厳しいことが理解できると思います。その結果、平成十七年度は三十四の私学は入学生が募集定員を割りました。このような厳しい冬の時代にこそ私たちは鍛えられます。実力が試され、互いの協力が求められるときです。

創立者長谷川保の言葉を思い出します。「どんなに厳しいときでも、ただの一度も道が開かなかつた時はなかつた。(祈りのあるところに神様の導きがあつた。)

発行者
学校法人聖隸学園
聖隸クリストファー大学・大学院
聖隸クリストファー高等学校
〒433-8558
浜松市三方原町3453
電話 053(436)5311
<http://www.seirei.ac.jp>

聖句

めいめい自分のことだけではなく、
他人のことにも注意を払いなさい。

(フリーピの信徒への手紙 二章四節)

聖書のことば

「めいめい自分のことだけではなく、
他人のことにも注意を払いなさい。」

聖隸学園宗教主任
聖隸クリストファー大学 教授 佐柳 文男

長谷川保は鳥居恵一ら同志と共に消費組合浜松同胞社を設立した。設立のいきさつは『夜もひるのようにな輝く』に詳しい。モデルとなつたのは賀川豊彦が神戸市難で経営してた消費者組合である。賀川はロッヂデール公正開拓者組合にならい、「万人は一人のために、一人は万人のために」という標語を掲げていた。

人間の世界では「万人が自分自身のために生きるのが常である。「他人のこと注意」を向けるとすれば、その人をどれだけ自分のために利用できるかを考えためでしかない。その人の利益を考えるのではない。

誰でもが自分の利益を追求して他人を犠牲にする。その結果はどうであろうか。自分の利益は確保できているのだろうか。人は自分だけの利益を追求して他人を犠牲にし、その結果自分の貧乏を作り上げている。

聖書は別の個所でも「一人一人に『靈』の働きが現わされるのは、全体の益となるためです」と言う(コリントの信徒への手紙一十二章七節)。私たちが本当に「他人のこと注意を払い」、他の人の利益を求めることができるとすれば、それは神の靈の導きによるほかない。神に導かれて「万人が一人のために、一人が万人のため」生きるときに、全員の利益、全体の利益が確保される。

さらなる飛躍を目指して

英数科設置及び普通科再編の意図

校長 茂田 勇

英数科の開設

英数科準備室長
今田 勝

○ 本校の使命

「時代を超えて存続する企業には基本理念がある」「基本理念とは、戦略とは違い、たとえ一時的な不利益を招いても企業が守り続けていくべきものである」。『ビジョナリーカンパニー』(日経BP出版センター刊)という書物にある文言です。企業を学校に置き換えると、戦略のみに明け暮れ、理念なき学校は信を失い、永続的な発展・繁栄は難しいということになります。私は、本校の堅持すべき基本理念は建学の精神「自分のようにあなたの隣人を愛しながら」とあります。「人のために役立つ人間」の育成、それが本校に課せられた使命であります。来年四月に予定している英数科設置の真意もここにあります。幸いなことに本校は病院・大学・福祉施設に隣接し、「心の教育」には最適な教育環境にあります。将来を切り拓く知力・体力の育成とともに、土台となる人間教育に力を入れていきます。

○ 「躍進プラン」による改革の進行

本校は一昨年、現在地に新築移転しました。二〇〇四年度には、新校舎にふさわしい教育内容の充実を意図して「二十一世紀躍進プラン」を策定しました。プランには今後の本校の進むべき道や「育てていきたい生徒像」が盛られています。現在、このプランによる改革が進んでいます。ところですがその一部を紹介してご理解を賜りたいと思います。

(1) 学科再編とクラス編成

今まで本校は普通科のみの学校でしたが、生徒の多様なニーズに応えるため、また学力を伸ばし進路実現を可能にするため学科を再編し、二〇〇六年度一年生からの学年進行で英数科と普通科の二学科制を導入します。普通科には四つのクラスを設けます。

■ 英数科

二クラス

■ 普通科

六クラス (内訳・特別進学クラス 一クラス

・進学クラス 二クラス・総合クラス 二クラス

・情報クラス 一クラス)

クラス数は現時点での予定数ですので志願者数の動向によって変更の可能性があります。また、募集要項では英数科の募集定員を三〇名としていますが、中学校の先生方のご要望もあり二クラス(六〇名程度)を予定しています。なお、英数科は現行の特進コースⅠ及びⅡを発展させ、教育内容もより充実させたものになっています。また、普通科の特別進学クラスは新しい発想に基づくクラスで、例えば強化部活で活動しながら国公立大学や四年制私大に進学可能な学力が身につくクラスを意図しています。進学、総合、情報の各クラスは現在ある各コースの教育内容と大きな変化はありませんが、各種検定受験を奨励し、資格取得に積極的に挑戦させます。

(2) 長期留学・看護・福祉系等への対応

現行では長期留学・看護・福祉等の志望者を特進コースに集めていますが、二〇〇六年度の一年生から学力や希望により異なるクラスに所属することになります。その代わりに「看護・福祉・リハビリ特別プログラム」と「長期・短期留学プログラム」により指導の強化を図ります。

○ 終わりに

英数科と普通科の二学科制が完成するのは二〇〇八年度になります。現行のシステムで学ぶ生徒への配慮がとどめ大切です。工夫を凝らして指導の質的な向上を図っています。高い目標・理想を掲げて挑戦し続ける学校

二〇〇六年四月いよいよ「英数科」が開設されます。

激動する世界情勢、変化せざるを得ない日本の状況が今の現状かと思います。そうした中、「英数科」は聖隸グループがもつ医療福祉関係の教育力や長期留学システムを最大限活用し、「高い志を持ち、医療と福祉に貢献する人」、「広い視野と国際感覚で、世界を舞台に活躍する人」、「豊富な知識と教養で、リーダーシップをとる人」といった、人のために役立つ人材の育成を目的に開設されます。学習面では基礎基本を重視し、高い英語力を土台に、数学や理科を重視した教育課程で、医・歯・薬系学部をはじめ法学・経済・国際関係学部など難関国公立および難関私立大学への進学をめざします。

教育課程では、英数科ならではの科目を設定します。英語は「異文化理解」「時事英語」数学は「理数数学Ⅰ・Ⅱ」「理数数学探究」などの科目を設け、ハイレベルの講義と、生徒が自主的により深く、より幅広く探求することとで本当の実力を養成します。

また、人間性を磨き、志を育てる授業として「人間探求」を設けました。課題図書の読破、新聞を活用した課題学習、新聞切り抜き作品コンクールへの応募など、体験活動を通して、課題発見、問題解決能力を養成します。そして、「人間探求」の運営にあたっては、隣接する聖隸三方原病院、聖隸クリストファー大学、福祉施設との連携を強めそれらの持つ教育力を最大限生かして参ります。

学習の興味を喚起する宿泊研修、希望者による海外語学研修などのプログラムについても実現に向けて具体的な内容を詰めているところです。

英数科は新しい夢と希望をもつて来年四月に開設され

完成年度を迎えた社会福祉学部の現状と今後の見通し

社会福祉学部長 佐々木 敏明

第一期生の内定取得状況

本学は、一九九二(平成四)年に看護学部単科の聖隸クリリストファー看護大学として設置されて以来、中長期計画に基づき一九九八(平成十)年に大学院看護学研究科、二〇〇二年には社会福祉学部を開設して、聖隸学園浜松衛生短期大学とともに聖隸クリリストファー大学に校名変更(短期大学は聖隸クリリストファー大学看護短期大学部)し、二〇〇四(平成十六)年には社会福祉学研究科及びリハビリテーション学部を開設。キリスト教の愛の精神を基盤に学部・研究科の一層の連携を図りながら、地域の保健・医療・福祉の分野の質的向上と、ヒューマンサービスの一層の向上を目指してきました。今回の学園報では、佐々木敏明学部長に完成年度を迎える社会福祉学部の現状と今後の見通しについてまとめていただきました。

××××

社会福祉学部は、完成年度を迎えるました。今四年生は、就職活動、卒業研究、国家試験対策などに目の色を変え取り組んでいます。とくに、就職活動は、先輩もいろいろなところから、当初、不安一杯の様子でしたが、就職センターのきめ細かな指導もあって十一月現在、おかげさまで社会福祉専攻の六七・八%、介護福祉専攻の八五・七%の学生が内定することができました。しかも、うれしいことに福祉領域へ進む学生が七割を超えていました。

この実績は、学生自身が実習やボランティア活動を通じて評価していたいこともあります。聖隸グループをはじめ多くの医療・福祉関係者が「新しい血」を積極的に受け入れて下さったことや聖隸介護福祉専門学校を卒業した先輩がいろいろな場面で学生をサポートしてくれたことが一緒にになって初めて可能になつたのではないことを感謝しています。

また、教員にとつても、この結果は、福祉現場に愛され、現場を改革するリーダーになれる人材を養成したい、現場と協働して地域の福祉水準を上げたいという願いが実現に向けて順調に滑り出したという喜びであります。

もちろん、「製造者責任」という面も含めて、社会福祉学部が本当の意味で真価が問われるのはこれからであることはいうまでもありません。卒業生が三年後、五年後、十年後、福祉現場に根を下ろし、リーダーとして、実習指導者として活躍するようになる、そのなかから、福祉施設の運営や大学の教育を担う人材が誕生する、さらには卒業生の子女が本学部を選んで入学してくれるようになったときが真の完成年度と思うからです。

そのためには、教員一同、気を引き締めて、この四年

是非、この度、採用していただいた方々や卒業生にも、社会福祉学部の教育に対して、その一翼を担っていただき、こういう学びができるとよかったです、あるいは、こういふ点は改善してほしいという要望や提言をいただいて、ともに力を合わせて社会福祉学部の伝統をつくり上げていきたいと決意を新たにしています。

今後とも、皆様方の暖かいご支援をお願いいたします。

■社会福祉学部内定取得状況【2005年12月5日現在(重複有り)】			
【専攻】	【区分】	【応募先】	【集計】
◆社会福祉専攻	企業	H L S	1
		J A とびあ浜松	3
		ヤマシタコーポレーション	1
		遠鉄ストア(一般事務職)	1
		富士ハウス(事務職)	1
	※以前勤務していた企業		1
公務員	静岡県(児童指導員)		1
	御前崎市		1
	樺原総合病院(P S W)		1
福祉	いきいきリハビリテーション病院		1
	ひかりの園		1
	湖成会		1
	公友会		1
	三幸会		3
	七恵会		1
	小羊学園		3
	聖隸福祉事業団(介護職)		5
	天竜厚生会(介護職)		1
	天竜厚生会(総合職)		4
	米山せきれいの郷		1
	日本老人福祉財団		2
	牧ノ原やまばと学園		2
	麦の家		1
社会福祉専攻 集計	慶成会		1
	松風会		1
	藤花会		1
			41
◆介護福祉専攻	企業	レアール	1
		矢崎化工(総合職)	1
	福祉	湖成会	1
		公友会	2
		三幸会	1
		十字の園	1
		小羊学園	1
		松風	2
		聖隸福祉事業団(介護職)	5
		天竜厚生会(総合職)	1
		和恵会	1
		横浜あおばの里	1
	介護福祉専攻 集計	喜生会	1
	総計	浜名会	1
		慶成会	1
		鼎会	1
		デンマーク牧場福祉会	2
			24
			65

2005年度満足度調査結果

●満足度調査について

学園では、1994年度から毎年、学生・生徒の考え方を把握し、学校経営や学校運営に積極的に反映させていくことを目的として、大学、高等学校の卒業学年の全学生・生徒を対象に、満足度調査を実施しています。また、2004年度からは大学の在学生に対しても実施しております。この調査は学校法人が直接実施することにより、学生・生徒が自由に回答できることが特徴で、率直な意見が出されています。調査方法は、90~100問(在学生向けは47~52問)の設問をマークシートにより回答し、その他自由記述による設問も設けています。マークシートによる回答は、「大変満足している(とてもそう思う)」「やや満足している(ややそう思う)」「どちらでもない」「あまり満足していない(あまりそう思わない)」「全く満足していない(ほとんどそう思わない)」の五段階です。

●調査結果の概要

2005年度の大学在学生向け満足度調査は9月30日に実施致しました。調査項目は、本学を選んだ理由等(1年次生のみ)と満足度を尋ねる設問(授業、友人・学校生活、

教員、職員、施設・設備、総合意見の六項目)の2つに分かれます。

本学を選んだ理由については、「専攻したい学問分野がある」との回答が一番多く、「取りたい資格・免許が取れる」との回答が続きます。また、回答した1年次生の7割強が、在籍している学部に対し、「是非入りたいと思った」、「ほぼ満足して進学した」と回答しています。また、大学で学んでいることが自分のやりたいことと一致しているかどうかについては、7~8割の学生が、「かなり一致している」、「やや一致している」と回答しました。

回答者全体における満足度の高い項目は、「将来自分の進む道で役立ちそうな授業科目がある」、「校舎内の清掃は行き届いている」、「学生サービスセンター職員の対応は適切である」の順、一方満足度の低い項目は、「学生ロッカー室の清潔感」、「授業中の学生同士の私語」、「学生食堂の集中的混雑が緩和されている」、「駐輪場の利用しやすさ」の順です。

●学校経営・学校運営への反映

「満足度」は主観的なものですから、個々により満足しているかどうかは違いがあり

ますが、学園では、学生が個々に感じる満足・不満足の率直な意見を大切にしたいと考えています。理事会や教職員が各々の立場で調査結果を分析し、その重要度や緊急性を判断して、教育内容の充実、施設設備の充実等に反映させています。

学生食堂の混雑を緩和するため、今年4月から昼休みの時間の延長、補助いすや屋外用のベンチ付テーブルの設置を行いました。これにより満足度は前回調査時に比べて改善傾向にありますが、満足度の一層の向上を目指した対策を検討中です。学生ロッカー室、駐輪場については、前回調査時に比べて満足度の低下が見られました。学生ロッカー室は換気を良くし、排水管の洗浄を行うなど清潔感を高め、放置物については期限を定めて整理するなど、快適に利用できるよう対応を図ります。また、駐輪場については今年度中に増設工事を行い、利便性の向上を図る考えです。

今後もこの調査結果を教職員ひとりひとりが真摯に受け止め、学生の満足度を高められるよう改善に努めたいと考えています。

お気づきの点がございましたら、ご意見等お寄せ下さい。

編 集 後 記

学園報第30号では、高等学校の将来計画を中心とした、来年4月開設に向けて準備の進んでいる英数科をご紹介させていただきました。今回お伝えできなかった大学(看護学部

・リハビリテーション学部・短期大学部)でも、変革と飛躍に向けて邁進しています。現在学園では、大学院博士課程の設置に向けて動き始めております。(2008年4月開設予定)

最後に、日ごろお気づきの点、また、今回お読みいただいたご感想などをお寄せいただければ幸いに存じます。

■2005年度大学在学生向け満足度調査結果 上位/下位一覧 [上・下位3設問を抽出]

【満足度の高い設問項目】		【満足度の低い設問項目】	
● 看護学部 二年次生	①将来自分の進む道で役立ちそうな授業科目がある。 ②学生サービスセンター職員の対応は適切である。 ③校舎内の清掃は行き届いている。	● 二年次生	①学生ロッカー室は清潔感がある。 ②学生ロッカー室は利用しやすい。 ③昼休みが10分延長され、学生食堂の集中的混雑が緩和されている。
● 三年次生	①生涯付き合いたい友人ができる(できそう)。 ②将来自分の進む道で役立ちそうな授業科目がある。 ③学生サービスセンター職員の対応は適切である。	● 三年次生	①授業中の学生同士の私語は少なく、授業に集中できる。 ②学生ロッcker室は清潔感がある。 ③駐輪場は利用しやすい。
● 社会福祉学部 二年次生	①将来自分の進む道で役立ちそうな授業科目がある。 ②校舎内の清掃は行き届いている。 ③生涯付き合いたい友人ができる(できそう)。	● 二年次生	①昼休みが10分延長され、学生食堂の集中的混雑が緩和されている。 ②駐輪場は利用しやすい。 ③授業中の学生同士の私語は少なく、授業に集中できる。
● 二年次生	①学生サービスセンター職員の対応は適切である。 ②将来自分の進む道で役立ちそうな授業科目がある。 ③校舎内の清掃は行き届いている。	● 二年次生	①授業中の学生同士の私語は少なく、授業に集中できる。 ②学生ロッcker室は清潔感がある。
● 三年次生	①校舎内の清掃は行き届いている。 ②生涯付き合いたい友人ができる(できそう)。 ③学生食堂職員の対応は適切である。	● 三年次生	①授業中の学生同士の私語は少なく、授業に集中できる。 ②学生ロッcker室は清潔感がある。 ③昼休みが10分延長され、学生食堂の集中的混雑が緩和されている。
● ハピラージュ学部 二年次生	①将来自分の進む道で役立ちそうな授業科目がある。 ②校舎内の清掃は行き届いている。 ③学生サービスセンター職員の対応は適切である。	● 二年次生	①授業中の学生同士の私語は少なく、授業に集中できる。
● 二年次生	①学生サービスセンター職員の対応は適切である。 ②生涯付き合いたい友人ができる(できそう)。 ③本学・在籍している学部で自分の希望する学習ができそうである。	● 二年次生	①学生ロッcker室は利用しやすい。
● 二年次生	①校舎内の清掃は行き届いている。 ②将来自分の進む道で役立ちそうな授業科目がある。 ③生涯付き合いたい友人ができる(できそう)。	● 二年次生	②授業中の学生同士の私語は少なく、授業に集中できる。